

新たな広報活動



新たな広報展開(案)

1. 目的

パネル展で行ったアンケート調査の結果でもわかるとおり、各ルートを訪れる方は観光が主たる目的である。

これから観光やレジャーを検討する方は、市販の観光情報誌を活用する割合が高く、これら媒体に、風景街道の各ルートを紹介することで、観光やレジャーを検討する際の候補地となることが考えられる。

このことから、風景街道の認知度向上や、風景街道の各ルートへ、より多くの来訪者が訪れていただく機会を増やすことを目的に、目的地を選定するツールとなる観光情報誌での広報を実施したい。

2. メリット

- ・観光情報誌の発行サイクルは年1回であり、一度掲載すれば1年を通して書店等で販売される。
- ・観光やレジャーを検討する方の目にとまりやすい。
- ・掲載を想定している観光情報誌の初回流通部数が約14万部と多く、全国の書店やコンビニで販売される。
- ・観光客にターゲットを絞った広報が可能である。

3. 実施方針

- ・観光情報誌の中で、発行部数が最も多い媒体への掲載を検討する。
- ・誌面のスペースは1Pを想定しており、H24年度は風景街道全体を網羅する構成としたい。
- ・次回の発行予定となる平成25年3月に向けて、掲載内容の検討を行う。
- ・H25年度は、個別ルートでの紹介も検討する。
- ・表彰されたルートから掲載ルートを選定することも今後検討する。



▲観光情報誌のイメージ